

	提言に対する回答(市の考え方)
<p>① JAプロデュースの観光農園開設を提言します</p> <p>JAがプロデュースする、体験・体感・滞在型の観光農園が、太田市には適した観光客誘致手法の一つであると考えます。春の田植・イチゴ狩り、夏のジャガ芋ほり・こだま西瓜狩り、秋の稲刈り・さつま芋ほりも観光資源です。遊休農地を活用し、野菜農園として貸し出し、収穫の楽しさを家族で楽しんでいただく事業です。参加する家族の絆をより確かなものとし、その傍らで支援する地元の人達との触れ合いを通じて太田市のすばらしさを発見し、理解を深めてもらう事は、四季を通じてのリピーターとして有望です。</p>	<p>担当課: 農業政策課</p> <p>観光農園は、非農村部の方々を誘致する手段として有効なものであり、県内においても北部山間地を中心に盛んに行われております。現在、本市においては、果樹類やイチゴ農家が運営する観光農園が何ヶ所あります。今後については、上武国道利用者を中心に多くの方の立ち寄りが見込まれる「道の駅おおた」周辺の農地において観光農園が展開できないか、ご提言の内容を参考にしてJAなどにも働きかけながら研究していきたいと考えております。</p>
<p>② 太田商工会議所プロデュースのお接待処開店を提言します。</p> <p>まちの元気を取り戻すには、まず人が動き、歩道に人があふれる事が必要です。現在整備が進んでいる御城道をさらに充実させ、太田商工会議所プロデュースのお店を開くことによって太平記時代の街並みを再現し、四季の名産、物産の展示販売を行うことを提言します。</p> <p>お店を御城道からの金山城址散策起点と位置付け、美味しいもの談議をしたり、土産品情報を収集したり、楽しく金山散策を行えるようにサポートする茶店です。金山城址ガイダンス館に立ち寄る登山道や、高山神社を経由しての御城橋ルートもこの店にてご案内します。ボランティアによる湯茶などの接待も行いながら市民との触れ合いをしていただく「お接待処」です。お接待処には、登山に必要な杖、雨合羽、七福神巡りのご朱印帳、七福神セットなどを置き、楽しいお土産品売場の一つと位置付けます。</p>	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>金山は、近年多くのハイカーで四季を問わず賑わっております。車で来るハイカーのほとんどは、大光院北駐車場や金龍寺駐車場、ぐんまこどもの国駐車場から金山山頂を目指しているようです。また、東武鉄道を利用して本市を訪れるハイカーにとっては、整備された道路を歩くより、古道を歩きながら中世に思いを馳せる時間が、何ものにも変えがたいことであると思われます。</p> <p>まちづくり市民会議で提言された「お接待処」は、ロマンを求めて本市に来るお客様に、心からのおもてなしを提供する良い機会であると考えられます。金山山頂からのスカイツリーまで見渡せる雄大なパノラマ展望も周知されつつあり、今後益々の誘客が見込まれますので、太田商工会議所と連絡を密にして取組みたいと考えております。</p>
<p>③ 行政による漁港の開設を提案します</p> <p>念願の北関東自動車道も間もなく全面開通となり、海のない太田市に、太田国際ターミナルに次いで、市民場外市場と位置付けた漁港の開設を提案いたします。観光客・市民相手の場外市場を新設し、産地直送の新鮮魚の提供を売りとします。</p>	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>太田市では、生活に欠かせない衣食住の食の部分を、(株)太田地区総合卸売市場(太田魚菜商業協同組合)において、新鮮で旬な野菜、くだもの、鮮魚を提供しております。また、毎週土曜日に「おおた市場土曜日」を開催し、現在では少なくなった売手と買手の対面販売により会話の中からコミュニケーションをはかり買物を楽しんでいます。この様な賑わいの場を高速道路の開通により県外の方々にも楽しんでいただき、経済活性化を図れたら今後の太田市の発展にもプラスになると思われるため、関係各所と協議を重ねながら対応していきたいと思っております。</p>
<p>④ 新たな食文化の開拓を提言します</p> <p>地元産品を活用し、洒落たかわいいスイーツカフェを、空き店舗を活用して開店するのもよろしいのではないのでしょうか。かわいい子どもが集えばまちは華やきます。</p> <p>また、現在は辛口志向の時代でもあり、辛口焼きまんじゅうなども検討に値します。全国三大焼きそばとして売り出し中の焼きそばに、ヤマト芋、生姜焼き肉などのトッピング添えの開発を提言いたします。太田市の焼きそばは後発でもあり、認知には時間がかかりそうです。少し割高でもおいしければ賛辞がいただける時代でもあります。</p>	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>現在の太田市は、ご指摘のとおり食文化につきまして発展の余地があると考えられます。</p> <p>太田市の農業は、数多くの食材を生産しており、特産品であるヤマトイモ、紅小玉スイカをはじめとして、きゅうりやトマト、畜産では肉牛など肥育がさかんであります。今後は、これらの食材をPRするとともに、地域に根ざした新たなメニューの開発など、関係各所と協議しながら、太田市の食文化の発展を地域全体で盛り上げていけるよう対応していきたいと考えております。</p>
<p>⑤ 行政による郷土愛の推進を提言します</p> <p>観光振興のためには、我々市民が郷土愛を持たなくてはなりません。そのための施策を行政が積極的に行うことを提言します。これから全国に散らばるであろう若人が、自信を持って誇らしく我がまち談議ができるようにすることは、今の私達の責務と考えます。先人達が私達にしてくれた様に。</p>	<p>担当課: 学校教育課</p> <p>市外、県外に出られた方々のわが町談議にはさまざまなものがあるかと思いますが、義務教育の段階で郷土の学習を行い、郷土に対する興味や知識を持つことが大切かと思っております。郷土を深く知る教材としてさまざまな「地域カルタ」があり、学校教育でも活用しております。子育てをはじめ行政でも各種カルタ大会を開催し普及を図っておりますが、学校教育においても更なる活用を図っていききたいと思っております。</p>
<p>① 観光振興連絡協議会(仮称)を設置し関係者のベクトルを合わせること、また、行政内部相互および民間の組織を結集して、観光振興に取り組む体制をつくることを提言します。</p> <p>・観光振興のための専任組織を新設するなど、行政の取組体制を強化します。 ・観光振興に携わる関係者が集まり、お互いの観光振興に対する意見の交換を行い、ベクトルを合わせて市全体としての観光振興策を実行します。</p>	<p>担当課: 企画政策課</p> <p>所管の商業観光課には、担当課長に加え、専門的に観光振興を担当させるため、観光振興担当主幹(課長職)を配置しております。今後とも、これが観光振興のために有効に機能するよう努めます。</p>
<p>② 更なる観光案内の広報、積極的な外部PRを提言します</p> <p>・観光パンフレットに観光案内所の存在やボランティアガイドの紹介を掲載し、観光客の受入体制を積極的にアピールします。また、太田駅の観光案内所は、側面の窓ガラスを透明にし、フレンドリーな「おもてなし」スペースとします。</p>	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>市内には名所旧跡・文化財をはじめとする観光資源が幅広く存在しております。また、尾島ねぶたまつり等、各種のお祭り・イベントも開催しております。多くの観光客を受け入れ、おもてなしするためには、観光資源のPRと同時に、ボランティアガイドの活用も重要であると考えております。</p> <p>そのためには、観光案内所の充実や広報おおた・新聞広告等による紹介が必要になります。さらには、多くのお客様を受け入れられるよう市外・県外に出て、効果的なPRを行っていききたいと考えております。</p> <p>ただやみくもにPRを行うのではなく、何が効果的かを検討・検証し、魅力ある太田市を市内外に幅広く発信していきたいと考えております。</p>

テーマ
【産業】

	提 言	提言に対する回答(市の考え方)
テーマ 【歴史】	<ul style="list-style-type: none"> ・市立の学校の総合学習に、市内の歴史研究や史跡、資料館の現地研修を取り入れます。 	<p>担当課: 学校教育課</p> <p>太田には誇るべき郷土遺産がたくさんあり、その多くを学校教育でも活用しております。金山城跡・古墳などの見学、体験学習は地域ボランティアの方などの協力をいただき実施しております。教育委員会としても郷土学習の深化を図るため、小中学校の郷土地図の全面改訂を行い、郷土の史跡や施設などをより分かりやすくレイアウトいたしました。今後は文化財課と協力して、施設利用を図るガイドブックの作成を企画するなど、子どもたちの学習活動の充実につながるような工夫をまいります。</p>
	<p>③ 「道の駅」の情報発信コーナーを観光振興の目玉とすることを提言します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に開設する「道の駅」の情報発信コーナーに観光案内施設を設け、観光振興の一大拠点とします。 ・現在、新田荘歴史資料館にある太田市近辺のジオラマと史跡写真を改造して移設します。 ・東京国立博物館にある、市内で発掘された国宝「挂甲武人埴輪」の実物大レプリカや市内の人間国宝の遺作（日本刀、竹細工）を展示します。 ・観光案内コーナーを設置して、来場者に個別に対応します。このコーナーでは、「おもてなし」のできる給茶サービスを地元老人会ボランティアで対応してもらいます。また、ボランティアガイドの待機場所を設け、観光客の案内に対応してもらいます。予約客との待ち合わせや、土曜・日曜・祝日は交代で、少人数・予約なしの来場者に対し現地案内ガイドを行ってもらいます。原則的には、道の駅から目的地、目的地から道の駅のUターンコースとします。観光客の車に同乗し、車中説明も含め懇親を深め、ガイドの移動手段の負担をなくします。この「Uターン同乗ガイド」については金山ガイダンスセンターでも実施が有効であると思います。 	<p>担当課: 農業政策課</p> <p>道の駅は、本来の目的である道路利用者の休憩施設であるとともに、その地域の文化や名所・特産物などの情報を提供する機能を持ち、道の駅を核とした沿道の地域と地域の連携が促進され、地域経済の活性化が期待できます。道の駅の“情報発信コーナー”は、まさに「おもてなし」の心で来場者にサービスを提供することが基本であると思います。</p> <p>ご提言の内容につきましては貴重なご意見として可能な限り施設の管理運営に反映させ、施設のスペースや人員配置等を考慮しながら、関係各課や指定管理者と協議を行って快適で個性豊かなにぎわいのある道の駅にしたいと考えております。</p>
	<p>④ 1%まちづくり事業を拡大して、「おもてなし」事業に対しても同様の活動支援を行うことを提言します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイド要員育成事業の支援を行います。講師謝礼・講義資料作成・現地研修などの費用を援助し、ガイド要員の確保とスキルアップを支援します。 ・観光案内活動を支援するため、旗・のぼりなどの製作や制服・制帽などの整備、現地ガイドの小道具の製作などの費用を援助し、ガイドの「おもてなし」精神を高揚させます。 	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>各ボランティアガイドの会と協力し、ガイドの育成事業を行うよう努めます。現地研修などを積極的に行い、ボランティアガイドに興味をもってもらい、ガイド要員の確保を目指すとともに、「おもてなし」精神の高揚を目指します。</p> <p>また、パンフレットやホームページでボランティアガイドの存在を広く知ってもらい、積極的に利用していただくよう、県内外へ情報を発信できるよう努めます。</p>
テーマ 【環境 (緑、水、エネルギー)】	<p>① 緑(樹木)や水を生かした地域づくりを行うことを提言します</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定の史跡「矢太水源」から「ホテルの里公園」、ため池百選に指定された「妙参寺沼」を結ぶコースを親水型の散策場所として活用し、緑と水辺で楽しく遊べる場所にします(水辺の楽校)。 	<p>担当課: 環境政策課</p> <p>市民が憩える環境に配慮した場所としての活用を図ります。なお、環境保全及び管理等については、地域住民や市民団体及び関係機関等と協力・連携をとりながら推進してまいりたいと考えております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会館跡地を緑に覆われた公園にし、イベント広場や緊急時の避難場所として活用します。 	<p>担当課: 企画政策課</p> <p>旧市民会館跡地南側の太田中央公園については、災害時の一時避難場所として指定されております。また、旧市民会館跡地部分については、現在、駐車場及び緑地として利用しております。当跡地については、市街地の中に位置しており、周辺の商業地域や住居地域と調和した有効活用が必要と考えております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場や道の駅、道路に樹木を増やし、緑に覆われたまちづくりを行います。 ・個人で管理している樹木や生垣の保存について、助成制度を充実させます。 ・行政は、事業者が敷地の緑化などを積極的に行うよう指導します。 	<p>担当課: 花と緑の推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動により、街路花壇への花苗植栽を継続します。 ・保存樹木(巨樹・巨木)の報償制度及び生垣設置補助制度を推進します。 ・開発事業指導要綱等により、緑化推進を図ります。
	<p>② 日本一エコな観光地を目指すことを提言します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月定期的に、太田駅からエコハウス、スーパーエコハウスなどを、エコカー(EV)やバスで巡るツアーを開催します。 ・エネルギー施設と自然環境、歴史文化を組み合わせ、見学・研修会を開催します。 	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>太田市内には北部運動公園内にエコハウスがあり、城西の杜にはスーパーエコハウスがあります。平成24年度以降からは市内に出力約1,500キロワット級の太陽光発電施設(メガソーラー施設)が稼働する予定もあります。地球環境にやさしい生産活動を継続している企業もあります。</p> <p>今後は関係課や観光業者と連携し、エコツーリズム推進法に基づき、商業ベースで企画できるツアーを研究してまいります。</p>
<p>③ 太田市の基本計画・構想が確実に実行されることを提言します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画 ・太田市緑の基本計画 ・太田市景観計画 ・太田市都市計画マスタープラン ・里山自然整備構想(八王子丘陵) 	<p>担当課: 企画政策課</p> <p>新生太田総合計画に基づく前期行動計画期間が平成23年度に終了することから、平成24年度を初年度とした5年間の後期行動計画を策定いたしました。各施策ごとに施策の方向性を示し、主な実施事業も位置づけております。事業実施にあたっては、社会・経済情勢を的確に判断しながら推進していきたいと考えております。</p>	

	提 言	提言に対する回答(市の考え方)
テーマ 【イベント・市民参加・メディア】	<p>① 「観光都市プロジェクトチーム」の開設を提言します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントは市内に多くの人を集めることができる観光資源ですが、太田市においては主催者の相違などの問題から必ずしも成功しているとは言えません。 ・そこで、市内で開催されるイベントを魅力あるものとするためのプロジェクトチームをつくることを提言します。 ・チームでは太田市の個々のイベントについて協議・提案し、主催者や参加者を支援します。 ・チームのメンバーは横断的で総合的な支援ができるように、行政、市民、地区代表、商工会議所（商工会）、各種団体、企業のトップ、学生などからの選出とします。 	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>イベントは、誘客による経済及び地域の活性化に繋がる貴重な観光資源であります。しかし、主催者側の意向の差異により、必ずしもそのイベントが観光資源としての役割を担っているのか疑問を生じる場合があります。何をもちて成功・不成功とするかは議論の余地があると思いますが、助言や支援を希望するイベント主催者の手助けになれば、観光資源となるイベントがより一層活性化するものと考えられます。よって、提言が観光振興に反映できるように研究してまいります。</p>
	<p>② 「おおた市民参加の日」の設定を提言します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが主体的に参加するイベントの設定を提言します。最近では清掃活動など、環境を守る運動自体を観光資源として有効活用する動きが盛んになっています。例えば、富士山では毎年「富士山クリーンツアー」を開催し、多くの人を集めています。 ・そこで、現在太田市で行っているクリーン作戦など、「市民ボランティア清掃」をリニューアルし、観光資源をきれいにする日を設けます。 	<p>担当課: 商業観光課・環境政策課</p> <p>【環境政策課】 クリーン作戦は「私達の街は私達の手で」を合言葉に、身近な公共区域の清掃を行うことで環境美化に対する意識啓発を行うことを目的としています。クリーン作戦で醸成された環境美化に対する意識が、現在の「金山清掃」などの市民ボランティア清掃活動に生きていると感じています。今後もクリーン作戦は身近な環境美化を考える場とし、「富士山クリーンツアー」に代表されるような、市民が主体となる自主的なボランティア活動が生まれる礎となる活動としていくべきであると考えております。</p> <p>【商業観光課】 現在、市民参加型のボランティア清掃として、年に二回「金山清掃」を行っています。よって認知度を高めるためのPR方法を検討し多くの人に参加してもらえよう努めます。また、市内各所に点在している観光資源等でも清掃活動を行い、太田市民全員が清掃活動に参加できるようなイベントとなるよう検討したいと考えております。</p>
	<p>③ 「フィルムコミッションおおた」の開設を提言します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、多くの自治体が観光振興や地域振興を目的としてフィルムコミッションを設立し、映画等の撮影場所を誘致しています。ロケ地等で利用された施設や場所は新たな観光地となり、多くの集客を実現している自治体もあります。 ・撮影場所等における自治体側の要望と、撮影者側の要望が一致しないこともあり、必ずしも太田市が考える観光資源が選択されるとは限りませんが、新たな観光資源の発掘手段として非常に有用であると考えられます。 ・そこで、太田市もフィルムコミッションを設立し、新たな観光資源の発掘機会を逃さないよう、撮影者側の要望に即座に答えられるような体制づくりをする必要があると考えます。 	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>【商業観光課】 現在、市内における映画等の撮影依頼につきましては、撮影業者からの電話連絡などによる直接のお問合せと、桐生市のわたらせフィルムコミッションからの協力依頼の二通りで主に対応しております。撮影依頼内容を十分に確認し、行政として協力できる部分、民間会社や個人さまのご協力をいただく部分等それぞれの状況をふまえ、できる限りの協力を行っております。</p> <p>しかしながら、年間の取り扱い件数としましては、正確なデータはございませんが、十数件と決して多いものではないと認識しております。</p> <p>よって、太田フィルムコミッションの設立につきましては、有効性の部分は勿論承知しておりますので、今後の撮影協力依頼件数などを基本とし、行政と共にご協力いただける関係団体やボランティアの皆様と共に、引き続き研究を行ってまいります。</p>
テーマ 【太田市の観光振興計画策定と組織の強化について】	<p>① 観光振興計画の策定を提言します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民（学生）、事業者、商工会議所（商工会）、行政などで検討委員会を作り、観光についての理念や方針、目標などを示した観光振興計画を策定し、「観光まちづくり」を推進します。なお、実施事業については今回の市民会議の提案を生かした具体的な事業を計画し、キャッチコピーは公募します。 	<p>担当課: 商業観光課</p> <p>「観光」は、21世紀のリーディング産業であるとして期待がかけられております。まちづくり市民会議の提言を尊重するとともに、提言内容を検討し観光振興計画の策定に努めてまいります。</p>
	<p>② 組織の強化を提言します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所内に、観光についてとりまとめを行う組織をつくり、窓口を一本化して関連部門との横断的連携を強化します。 ・市民、事業者、商工会議所（商工会）、行政などを構成員とする観光振興組織の設立を図り、協働のための体制づくりを進めます。 ・観光振興策とまちづくり、商工業振興、地域文化継承などの各施策との連携を強化し、観光まちづくりに総合的に取り組んでいきます。 ・観光資源に関する情報を一元化し、様々な情報提供の手法を活用して市内外に幅広く発信していきます。 	<p>担当課: 企画政策課</p> <p>行政組織としては、商業観光課に、担当課長に加えて観光振興担当主幹（課長職）を配置しております。観光振興等に係る専門的事項を担当させるために配置したもので、庁内の関係課や関係団体との調整を行いながら観光振興を担っております。</p> <p>観光資源が多様化する中において、より効果的な観光振興を図るためにも、さらに横断的な連携を強化できる組織を目指します。</p>